

町野川水系牛尾川(輪島市)の土砂ダムへの 監視体制強化(投下型水位計投入)に協力



国土交通省北陸地方整備局は、能登半島地震により河道閉塞(土砂ダム)が形成された輪島市の牛尾川の監視体制強化のため投下型水位計を設置しました。この作業に立山砂防事務所から職員を派遣しました。

設置は令和6年1月29日に行われ、国土技術政策総合研究所の指導の下、石川県及び兵庫県の消防防災航空隊のご協力を頂き、ホイストにより投下型水位計及び国交省職員(2名)を現地投入、機器の動作確認及び土砂ダムの状況確認という任務を果たしてきました。

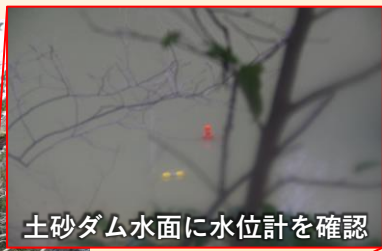
作業にご協力を頂いた石川県と兵庫県の両消防防災航空隊の皆様には改めて御礼を申し上げます。
また、一日でも早く被災地に平穏な日常が戻りますことを祈念申し上げます。



消防防災ヘリ搭乗前に職員の投入・回収訓練を実施
(写真提供：総務省消防庁)



投下した水位計を確認する立山砂防事務所職員



土砂ダム水面に水位計を確認



ホイストによる投入・回収の状況



水位計の位置を計測する国総研職員